

うけな
浮穴地区

面積：5.9 km²
人口：9,532人（高齢化率 27.1%）
世帯数：4,225世帯

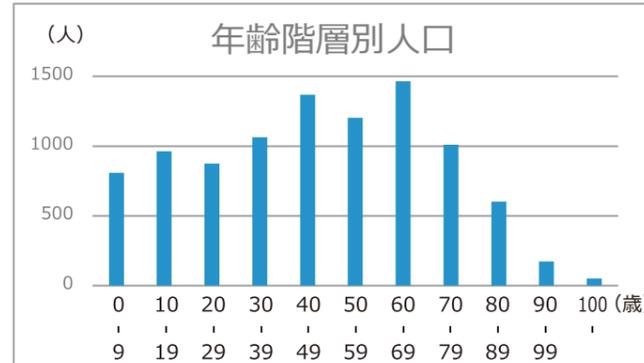


【地区の特色】

浮穴地区は、松山市の南部にあり東西約 6.7km、南北は広いところで 1.3km と細長く、重信川と内川にはさまれた地形である。地区には伏流水と呼ばれる地下水の流水があり、全国名水百選に選ばれた杖ノ淵泉は親水公園として水辺に親しめるように整備され、年間を通して大勢の人々が訪れている。



杖ノ淵公園



【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> ・行事が多く、子どもが積極的に参加しており近所の繋がりがあがる ・春祭りや秋祭りを、(井門・森松・南高井) 各地区で行っている ・重信川の河川敷でスポーツや花壇、ウォーキング、サイクリングなどが楽しめる ・サロン活動に参加する高齢者が元気 ・水が豊富で松山市の上水道の水源の一つがある ・交通の要衝で高速道路、松山インターがある
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進んでいる 若年層の流出が多い ・地区によっては公共交通機関での移動手段が少ない ・行事は多いが参加者が少ない (若い世代、男性) ・子ども減少のため、行事が出来なくなっている ・地域によっては高齢者が歩いて行ける距離にスーパーがない ・水害の可能性 (内水氾濫を含む) が高いが、水害時に避難できる高台が無い
福祉課題	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化 (地区の世話人等の高齢化、後継者問題) ・公共施設の老朽化、高齢者が公民館の2階に上がれない (エレベーター希望) ・老々介護、老人性うつ病の増加、高齢者の独居世帯の増加⇒孤独死の不安 ・公共交通機関が少ない、ループバスを充実させて欲しい ・核家族化している、子どもが外で遊ばなくなっている ・空き家問題⇒治安が悪くなる ・洪水時の要支援者等への対策は急務

浮穴地区社会福祉協議会

構成団体	総代・町内会・公民館・共同募金会・地区民協・自治会・交通安全協会 自主防災組織連合会
主な取り組み	活動内容
福祉だよりの発行	年1回2月発行・大口共同募金の折込広告発行
サロン交流会の開催	毎年3月公民館の文化祭で作品の展示・演芸の発表・お茶の接待
講座の開催	年1回 一般地区住民対象 (地域の仲間作りや福祉に関する勉強会)

地区社協役員全員集合！

地区社協役員が定期的集まり、疑問に思うことや地域に関する話題などから課題を抽出し情報を共有している。その中から「地域のみんなが参加できる支え合い」を模索しています。



<地区社協が目指すもの>

各家庭での自立を願い、先ず家族の支え合いが優先、次に地域で支え合い、高齢化の実情に合わせ、みんなで見守り合い、人の気配を感じながら安心できる住処を維持させるために、会話を楽しむ機会をつくり、地域での交流を多くしていくことを目指します。

地区の状況	■ 地区民協 民生委員 主任児童委員	13名 2名	■ 町内会・自治会・区長会等	5団体
	■ まち協の設立	—	■ 高齢クラブ	5クラブ
			■ 子ども会	4団体
			■ 自主防災組織	5組織

本地区では高齢化が進み買い物困難者の増加も課題となっていますが、地域貢献活動に携わる住民の意識が高くサロン活動を積極的に参加・運営しているほか、地区社協役員の定期会ではより住みやすい地域づくりのための活発な意見交換が行われています。また、自主的に重信川河川敷の清掃・花壇整備を行う人がいるなど、住民一人ひとりが主体的に取り組むことで地域を支えています。この貴重な人的資源を大切にしながら、地区の特徴でもある多くの行事に子どもや若い世代が参加しやすくなるように家族、近隣、地域の三層構造で支え合う体制づくりが期待されています。



地域カルテ ～地区ごとにみる地域特性～

『地域カルテ』とは

日常生活における不安や悩み、生活課題が複雑化する中、私たちが安心して暮らせるまちづくりに取り組むためには、まずは自分たちが生活する地域を知ることが必要です。自分たちの地域がどのような状況にあるのか、いわゆる地域の健康状態の記録(カルテ)を作成することで、その時々自分たちの地域の強みや弱みを把握するとともに、地域の魅力や課題を共有することにより、住民の地域福祉活動への参加意識の醸成と今後の活動の活性化につなげることが可能となります。今後は小地域ごとに様々な視点から、より詳細な地域分析を行い、それらをもとに地域の特性に応じたまちづくりに取り組んでいくものです。

第1	五明地区
	伊台地区
	湯山地区

第6	宮前地区
	三津浜地区
	高浜地区
	興居島地区

第8	浅海地区
	立岩地区
	難波地区
	正岡地区
	北条地区
	河野地区
	粟井地区

第2	久米地区
	浮穴地区
	小野地区
	石井東地区
	石井西地区

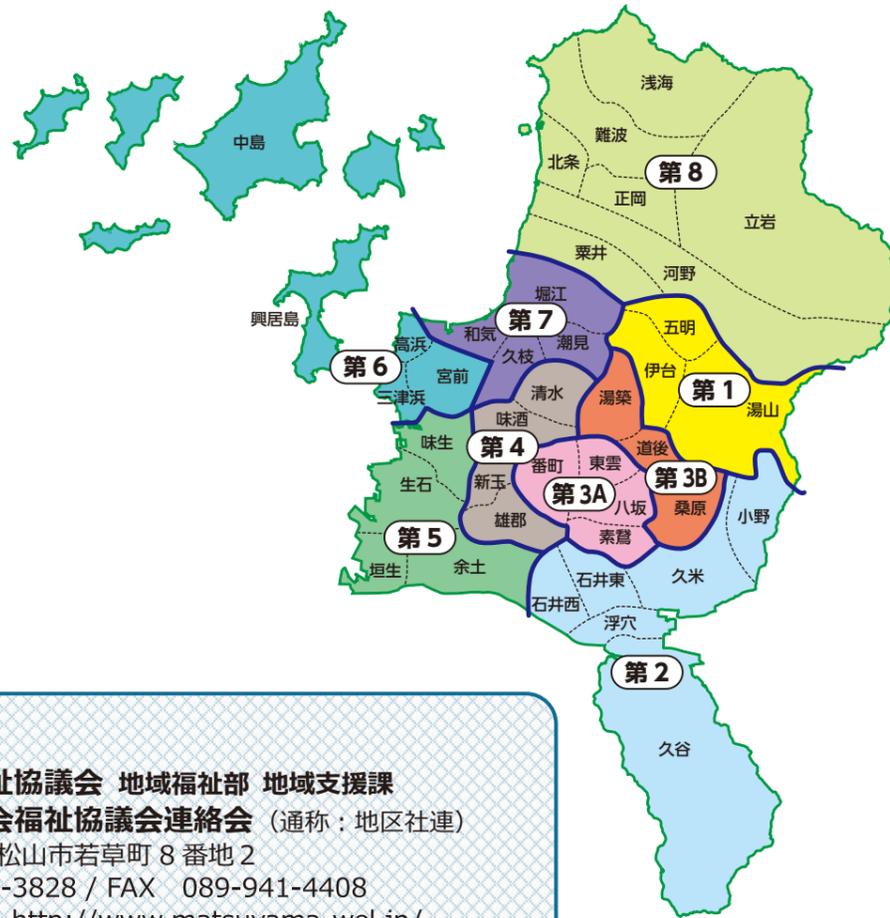
第7	潮見地区
	久枝地区
	和気地区
	堀江地区

第3A	番町地区
	八坂地区
	東雲地区
	素鷲地区

第3B	道後地区
	湯築地区
	桑原地区

第4	雄郡地区
	新玉地区
	清水地区
	味酒地区

第5	余土地地区
	垣生地地区
	生石地区
	味生地地区



発行日 平成31年3月

発行 松山市社会福祉協議会 地域福祉部 地域支援課
松山市地区社会福祉協議会連絡会 (通称: 地区社連)
〒790-0808 松山市若草町8番地2
TEL 089-941-3828 / FAX 089-941-4408
Web アドレス <http://www.matsuyama-wel.jp/>

作成 地区社会福祉協議会 / 松山市社会福祉協議会

<『地域カルテ』の見方>

掲載情報は随時、追加・更新し、各地区の地域福祉推進に活用していきます!

①地区の概要

- ・面積、人口、世帯数、高齢化率は松山市地区別推計人口、また、年齢階層別人口は松山市地区別年齢別住民基本台帳登録の平成30年4月1日現在のデータを記載しています。
- ・地区の特徴は松山市公民館連絡協議会ホームページを参考にしています。

②地域住民からみた地域の状況

- ・研修会のワークショップや会議の意見として、地区社協関係者や民生委員・児童委員をはじめとする地域住民の方々から出された内容をまとめて記載しています。

③地区社協の概要と取り組み

- ・平成30年度現在の各地区社協の活動状況及び地区社協が目指すものを記載しています。

④地区内関係団体データ

■地区民協	平成30年4月1日現在の定数
■まち協の設立	平成30年11月1日現在の設置状況
■町内会等	平成30年度町内会等状況調査(基準日:平成30年6月1日)
■高齢クラブ	松山市高齢クラブ連合会登録数(平成30年4月1日現在)
■子ども会	平成30年度松山市子ども会連合会加入数
■自主防災組織	自主防災組織 地区別結成状況(平成30年4月1日現在)

⑤地域福祉推進のポイント

- ・聖カタリナ大学 教授 恒吉和徳氏をはじめとする学識経験者の皆様から地域福祉推進に向けたコメントをいただいております。

《ご協力いただいた聖カタリナ大学の先生方》

教授 田中顕悟氏、准教授 村岡則子氏、准教授 釜野鉄平氏、助教 近藤益代氏